

II 用語の定義及び使用法

この章では、発生予察事業において使用する用語の定義及び使い方等を示す。

なお、「1 発生予察事業における用語」は、病虫害発生予察事業の実施について(昭和 5 年 5 月 6 日 61 農蚕第 2153 号)の第一のⅢを引用した。

1 発生予察事業における用語

(1) 用語の定義とその使用法

ア 病虫害名は原則として病名については日本植物病理学会によって作成されている「日本植物病名目録」に、害虫名については日本応用動物昆虫学会によって作成されている「農林有害動物・昆虫名鑑」に準拠するものとする。

イ 害虫の世代、回数等の呼び方については、応用動物昆虫学会で規定されている方法に準ずるものとする。

ウ 発生面積とは、発生の認められるほ場の面積をいう。ただし、ここでいう発生とは、病害の場合には農作物に肉眼で認められる病徴の出現した状態のことをいい、害虫の場合にはほ場に生息している状態のことをいう。

エ 発生量とは、発生の程度と広がり的一面を加味したものをいい、数値で(例えば、病害では調査株数に対する発病株率、虫害では株当たりの虫数)、又は(2)のイの(イ)のように平年対比により表現する。

オ 損傷とは、何らかの原因が作用したために生じた農作物(農産物を含む)の人間にとっては不利益な異常的状态をいう。

カ 被害とは、農作物(農産物を含む)に損傷を生じ、基準収量又は基準品質から減量又は減質した状態をいう。したがって、損傷があっても減量又は減質が認められないものは、これを被害とみなさない。

キ 被害面積とは、農作物(農産物を含む)に損傷を生じ、基準収量又は基準品質から減量又は減質した面積をいう。

ク 損害とは、農作物(農産物を含む)に損傷を生じ、被害をうけて不利益をこうむることをいう。

(2) 用語の基準とその使用法

ア 平年値

(ア) 気象上の観測値

気象庁では過去 30 年の観測値の平滑平年値をとっているので、これに準ずる。

30 年の資料がない場合には全観測値の平均を平年値とする。

(イ) 病虫害の発生時期、発生量、発生面積

原則として過去 10 か年の平均とする。

(ウ) 農作物の生育時期

原則として過去 10 か年の平均とする。

イ 平年値との比較

(ア) 時期

平年並	平年値を中心として前後 2 日以内
やや早い	平年値より 3-5 日早い
ややおそい	平年値より 3-5 日おそい
早い	平年値より 6 日以上早い
おそい	平年値より 6 日以上おそい

(イ) 量(発生量、発生面積及び被害量等)

平年並	平年値を中心にして 40%の度数の入る幅
やや多い	平年並の外側 20%の度数の入る幅
やや少ない	同上
多い	上記三者の外側 10%の度数の入る幅
少ない	同上

栽培面積の変動の激しい農作物の場合には、栽培面積に対する率も追記する。

(ウ) 気象条件

平年値より何度高い(低い)、平年値に比べて何回多い(少ない)と具体的に示すのを原則とするが、概念的に表現する場合は一応次の基準による。

気温雨量等量的なもの

平年並	平年との差± 0.5℃以内	平年値を中心にして 40%の 度数の入る幅
やや高い(多い)	平年値より 0.6～1.5℃高い	平年並の外側 20%の度数の 入る幅
やや低い(少ない)	平年値より 0.6～1.5℃低い	同上
高い(多い)	平年値より 1.6℃以上高い	上記三者の外側 10%の度数の 入る幅
低い(少ない)	平年値より 1.6℃以上低い	同上

(注)雨量は地域的な又は年による変動が大きいから、全国的に一律に数値でその幅を示すことは適当でない。したがって、各地域ごとに30年の観測値からその度数分布を求め平均値を中心にしてその度数の40%が入る幅を「平年並」とする。平年並の幅の外側で各20%の度数の入る幅をそれぞれ「やや多い」「やや少ない」とし、更に、それからはずれる各10%の幅を「多い」「少ない」とする。

ウ 半旬のとり方

半旬については暦日半旬を用いるものとする。

エ 発生程度別基準

発生程度は、甚、多、中、少、無の5段階に分ける。この基準は別途各論で病害虫ごとに定める。程度別による多とか少を使う場合には、「発生程度・多」のように、頭に「発生程度」の字句を必ず付すこと。

2 病害虫の発生期に関する用語

(1) 病害

ア 初発期とは、対象病害の病徴が初めて認められた日・半旬・旬をいう。平年値の日付は四捨五入する。

イ 発生期とは、平年と比較した発生の早晚(遅、やや遅、並、やや早、早)をいう。

ウ 最盛期(増大期)とは、対象病害の病徴の進展が最も著しく認められた日・旬・半旬をいう。最盛期が2カ所あった場合は最初の方とする。

平年値は最盛期のそのものの値を平均する。ただし、発病度の平年値の推移では、最盛期を示さない。

(2) 虫害

(2)-1 見取り調査、すくい取り調査等

ア 初発期とは、当該世代の対象害虫または被害が初めて認められた月日・半旬・旬をいう。すくい取り調査等においては、初めて対象害虫が捕獲された日をいう。

調査対象株で発生・被害が認められなかったとしても、調査ほ場内や同一条件の周辺ほ場で対象害虫・被害を認めた場合は、その日またはその日の属する旬・半旬をもって初発期とする。

イ 最盛期とは、当該世代の対象害虫が最も多く認められた調査日・旬・半旬をいう。すくい取り調査等においては、対象害虫が最も多く捕獲された日をいう。

ウ 増大期とは、寄生密度や被害程度の増大率(調査時の値/前調査時の値)が最大となる時期をいう。

エ 終息期とは、当該世代の対象害虫を最後に認めた調査日・旬・半旬をいう。すくい取り調査等においては、対象害虫を最後に捕獲した日をいう。食害等を調査する場合は、当該世代の対象害虫による被害の進展が停止した調査日・旬・半旬とする。

(2)-2 予察灯、フェロモントラップ調査等

ア 初飛来日とは、その害虫が予察灯に初めて誘殺された日をいう。

イ 最盛日とは、連続5日間の誘殺数合計が最多となった期間の中心日をいい、最盛半旬とは半旬内の誘殺数が最多の半旬をいう。

ウ 50%誘殺日とは、初飛来からの誘殺累積数がその世代の総誘殺数の50%を越えた日をいう。

エ 終息日とは、その世代の最終の誘殺を認めた日をいう。

世代と世代との間の誘殺が断絶せず両世代を明確に区別しがたいときは、飛来終期と思われる時期において連続5日間の誘殺数の合計の移動平均が最小となった時の中心日を前の世代の終息日とし、その日の誘殺数の1/2は前の世代の誘殺数とみなす(同日の誘殺数の1/2が、0.5の端数を生じる時は、その端数は前世代に繰り入れる)。

なお、飛来終期の誘殺曲線に2以上の谷を生じた場合には、原則として移動平均が最小となる日を終息日とし、これと異なった判定をした場合には、判定方法とその理由を成績に付記する。

(2)-3 世代の呼び方

暦 日	1月-----12 月										
虫の発育	幼虫	蛹	成虫	卵	幼虫	蛹	成虫	卵	幼虫	幼虫	
呼び方	越冬世代			第1世代			第2世代		(収穫後は越冬世代)		

(注1) この略図は幼虫越冬性昆虫の例であるが、他の越冬態の昆虫についても、越冬した世代を越冬世代とする。

(注2) 第○回○○と呼ぶ場合は、各態毎に越冬後に現れた順に番号を付ける。

3 農作物の生育期節等に関する用語

農作物の生育期節及び農作業期は、農作物生育状況調査要領(平成11年3月1日付け農改第2227号)によるほか、たまねぎ以外の野菜については野菜作柄情報調査に準ずる。

(1) 水稻

ア 水稻

は種期 地域全体の40-50%がは種された日

移植期 地域全体の40-50%が移植された日

出穂期 全穂数の40-50%が出穂した日

成熟期 黄熟稲が90%を占めた日

(2) 畑作物

ア 小麦

は種期 全体の40-50%をは種した日

出芽期 は種粒数の50%が出芽した日

止葉期 全茎の 40-50 %の止葉が展開した日
出穂期 全茎の 40-50%が出穂した日
成熟期 茎葉及び穂首が黄色に変じ、子実がロウ状になった日

イ 大豆

は種期 全体の 40-50%をは種した日
出芽期 は種粒数の 40-50%が出芽した日
開花始 全株の 5%が開花した日
成熟期 莢の 90%が変色し、子実の大部分が特有の色を表し硬化した日

ウ 小豆

は種期 全体の 40-50%をは種した日
出芽期 は種粒数の 40-50%が出芽した日
開花始 全株の 5%が開花した日
成熟期 莢の大部分が変色し、70%が熟莢(品種固有の莢色となった日)

エ 菜豆

は種期 全体の 40-50%をは種した日
出芽期 は種粒数の 40-50%が出芽した日
開花始 全株の 5%が開花した日
成熟期 莢の 80-90%が変色し、子実の大部分が特有の色を表し硬化した日

オ ばれいしょ

植付期 全体の 40-50%を植付した日
萌芽期 植付した 40-50%が萌芽した日
開花始 全株の 5- 10 %が開花した日
枯凋期 茎葉がほとんど枯凋した日

カ てんさい

は種期 全体の 40-50%をは種した日
出芽期 は種粒数の 40-50%が出芽した日
移植期 全体の 40-50%を移植した日

(3) 果樹

ア りんご

発芽期 頂芽の先端が破れ青みが現れた芽が、1 樹あたり 2-3 芽認められた日
展葉期 頂芽の葉が 1 樹あたり 1 葉が正しく展開した日
開花始 頂花芽の開花が 1 樹あたり 2-3 花認められた日
満開期 全体の花が 70-80%開花した日
落花期 全体の花が 70-80%落花した日

(4) 野菜

ア たまねぎ

は種期 全体の 40-50%をは種した日
移植期 全体の 40-50%を移植した日
倒伏期 全体の 40-50%の個体が倒伏した日
枯葉期 全体の 40-50%以上の個体が枯葉した日

イ ねぎ

は種期 全体の 40-50%をは種した日
移植期 全体の 40-50%を移植した日

ウ にんじん

は種期 全体の 40-50%をは種した日

- 出芽期 は種粒数の 40-50%が出芽した日
- エ だいこん
- は種期 全体の 40-50%をは種した日
- 出芽期 は種粒数の 40-50%が出芽した日
- オ はくさい
- は種期 全体の 40-50%をは種した日
- 定植期 全体の 40-50%を定植した日
- 結球始 全体の 10%の株が結球し始めた日
- 結球期 全体の 40-50%の株で結球が始まった日
- カ キャベツ
- は種期 全体の 40-50%をは種した日
- 定植期 全体の 40-50%を定植した日
- 結球始 全体の 10%の株が結球し始めた日
- 結球期 全体の 40-50%の株で結球が始まった日
- キ トマト
- は種期 全体の 40-50%をは種した日
- 定植期 全体の 40-50%を定植した日
- 開花始 第 1 花房が開花し始めた日
- (5) 花き
- ア きく
- 出蕾期 全体の 50%の株が出蕾した日